

令和3年度 学校評価（教育課程特例校としての工夫を通して）

項目	内容	質問内容（生徒・保護者）	生徒	保護者	質問内容（教師）	教師	外部評価	コメント
確かな学力の向上	1 授業の充実と改善	学校の授業内容を良く理解している。	B	B	学校の授業内容を良く理解している。	B	B	生徒、保護者、教師の捉え方のずれを感じますが、教師の努力がうかがえます。また、生徒と保護者間の話し合いができれば、目標のAに近づくと感じます。昨年度より評価が下がった理由は何なのか把握が必要。個人の力によるところが大きい。格差が出てきているように感じる。
		学力は向上している。	B	B	学力は向上している。	B		
				言語活動の充実を図ったか。	B			
				教科や学年等で指導方法の検討や、授業の取組等の情報交換等の連携が図られたか。	B			
	2 学習訓練の徹底	家庭学習が定着している。	B	B	家庭学習が定着している。	B		
			分からない問題にも分かるまで粘り強く取り組んでいる。	B	B	分からない問題にも分かるまで粘り強く取り組んでいる。	B	
	3 小中一貫教育による学習指導の充実				小中一貫教育に関する職員の意識は高まってきているか。	B		
	4 総合的な学習の時間の工夫による「生きる力」の育成				えびの学は、計画的に実施されたか。	B		
					えびの学の内容の工夫・改善がなされたか。	B		
	5 進路指導の充実	将来の夢や目標を持っている。	B	B	将来の夢や目標を持っている。	B		
豊かな思いやりのあふれる心の醸成	1 組織的機能を生かした生徒指導体制の充実	学校のきまりや社会のマナーを意識した行動ができています。	A	A	学校のきまりや社会のマナーを意識した行動ができています。	B	B	6項目の目標を掲げられて努力されています。生徒、保護者はAと判断していますが、教師は、Bと判断しています。生徒、保護者はよくやっているつもりであり、この項目を忠実に守れるように努力が必要と考えます。項目2は、今後努力して欲しいと考えます。これからも、学校、家庭、地域で連携を全員で協力していきたいと考えます。コロナ禍により、様々なことが制限される中、生徒たちが「あいさつ」ができていないと自覚していることが、日頃よりどれだけ意識が高いかがうかがえる。コロナの影響で活動中止もあったが、加久藤中の伝統である「あいさつ運動」はこれからも続けてほしい。生徒に寄り添った配慮がなされていると思う。
	2 あいさつ・ボランティア実践	元気のよいあいさつができています。	B	B	元気のよいあいさつができています。	B		
	3 いじめ防止対策の推進				いじめを起こさない指導と、いじめの早期発見を心がけている。	B		
	4 合理的な配慮を踏まえた特別支援教育の充実				必要な生徒に適切に合理的な配慮を行っている。	B		
	5 学校生活環境の整備と充実	整理整頓がよくできている。	B	B	教室環境の整備はよくなされたか。	B		
	6 道徳・人権教育の充実				教科書を十分活用したか。 主題のねらいにふさわしい補助資料等が準備されたか。 授業は年間計画に従い、適切に進められたか。 道徳的心情、判断力、実践意欲と態度は育っているか。 人権教育は、十分に実践されたか。	B B B B B		
健康安全の確保と体力の向上	1 交通安全指導や安全点検の徹底				通学路の安全確認や登下校指導を行っている。	B	B	自宅の時間が増え、健康、安全、食育等の考える機会が増えたことはよいことだと思う。コロナ禍ではあったが、できうる範囲での部活動や、体育大会代替行事、持久走大会等開催していただき、子供たちの体力維持、向上ができたことを評価したい。
	2 危機管理意識の高揚				非常変災を想定した防災訓練を行っている。 情報モラル教育を徹底している。	B B		
	3 健康・安全教育の充実	睡眠時間を十分にとっている。 学校で示されたむし歯などの治療勧告はすべて完治した。	B A	B A	毎月の安全点検や、授業・部活動でけが予防を心がけている。	B		
	4 食育の推進	朝食をきちんと食べている。 「子どもがつくる弁当の日」は、計画どおりに作る事ができた。	A A	A A	給食指導は、適切に行われたか。	B		
	5 教科・体育的行事・部活動を通しての体力向上	体力は向上している。 部活動(社会体育を含む)は充実しており、満足している。 競技力は向上している。	B A B	B B B	体力は向上している。 部活動(社会体育を含む)は充実しており、満足している。 競技力は向上している。	B B B		
家庭・地域との厚い信頼関係の構築	1 学校からの積極的な情報発信	学校からの文書をきちんと家で見せている。	A	B	通信等で家庭との連携を図っているか。	B	B	9項目の目標を掲げて、コロナ禍の中、学校、保護者、地域との連携を少しでも多くの行事ができるように努力され、また、地域との連携も図られたと特に思います。SNS、インターネットについて、保護者を交えての講座等を計画できればと思う。生徒も保護者も、インターネットについては十分理解しているだろうが、危険な情報等を共有できる場が必要なのでは。直接、授業参観等学校生活を見る機会は限られたが、安心メール等其他ツールを使った情報提供による信頼関係の構築に努力されている。
	2 家庭との連携による生活・学習習慣の徹底	家庭学習が定着している。	B	B	生活の記録や家庭学習の指導は、適切に行われたか	B		
		家庭でインターネット、SNS、ゲームなどはお子さんとルールを決めている。	B	B	基本的な生活習慣の指導に力を入れたか。	B		
		お子さんに家庭でインターネット、SNS、ゲームなどは寝る直前は使用させていない。	C	B				
	3 地域人材・素材の有効活用による行事・授業の活性化				社会教育団体との連携 学校支援ボランティアの発掘と活用	B B		
	4 魅力ある学校参観日の計画と運営					B		
	5 学校ホームページの内容充実					A		
	6 学校安心メールの登録推進と内容充実					A		
	7 コンプライアンスの徹底					B		
8 「働き方改革」に関する学校独自の工夫と改善					A			
9 保護者や地域、関係諸機関に対する迅速かつ丁寧な対応				家庭、諸機関との連携は適切であったか。	B			